

「長久手市里山プラン」についてのパブリックコメントの実施結果

- 1 意見募集案件名
長久手市里山プラン
- 2 募集期間
平成28年2月16日（火）から平成28年3月16日（水）まで
- 3 閲覧場所
都市計画課窓口、市ホームページ、市役所西庁舎1階行政情報コーナー
- 4 募集結果
1名（意見数6件）
- 5 提出された意見及び意見に対する市の考え方

	意 見	市の考え方
1	<p>多様な生物が人と共存する自然共生社会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知目標（自然と共生する社会－2050年）にも「生物多様性の損失を止めるための効果的かつ緊急な行動の実施」とある。 ・最近とみにイケア、イオン、公園西地区の大規模開発が続くが、開発により失われた分をどこかで補う条件整備が伴う必要を感じる。 <p>開発について行政は、地権者、開発事業者の後追いをしているようにしか見受けられない。緑が失われれば、その分他に植樹する、または経済的補填をするなど積極的環境整備を望む。</p>	<p>里山の整備をする際は、8. 保全・活用方策（14ページ）にあるとおり、生物多様性に配慮しながら保全を検討していきます。</p> <p>また、1. プラン策定の趣旨（1ページ）にあるとおり、里山プランでは、手入れや管理が行き届かず、放置された山林について、市民主体で保全・活用に取り組む方針を定めています。緑の補填の考え方については、今後の市の施策への参考とさせていただきます。</p>
2	<p>本計画は、長久手市の豊かな未来社会を指向する、正に重要な「プラン」と思われる。ぜひ市民主体のリーディング・プロジェクトを中心に進めたい。</p>	<p>9. 新たな体制づくりと管理・運営（20ページ）にあるとおり、今後、新たな人材の発掘と育成を進め、様々な事業を市民主体で展開します。</p>
3	<p>今回パブリックコメントの中での環境基本計画とも呼応して進行されることと思われるが、「横のつながり」がどのようになされるか注視したい。</p>	<p>9. 新たな体制づくりと管理・運営（21ページ）にあるとおり、里山の保全・活用に向けて、全市的な協議会づくりを目指しており、ここに、市の里山に関連した部署も参画することで、他の計画とも連携して事業を進め</p>

		ます。
4	市民ボランティアが進めている近隣の里山活動の例として、日進市の「北高上緑地」がある。私も参加したが、樹木の間伐採や竹林の整備、散策コースの造成整備、市民が参加して楽しめる季節ごとのイベント企画、緑地全体の保全維持管理が、行き届いている。ぜひ先行モデルとしたい。	ご指摘をふまえ、12. 今後のスケジュール（33ページ）①第1ステップに「近隣市町の先進事例を学ぶ見学会の実施」を追加し、今後の活動の参考としていきます。
5	「思い出づくりができる場」の中で、果樹園構想があるが、例えばブルーベリーを育て、果樹園とし市民が育成や収穫に一般参加する。長久手の樹木伐採材や竹林整備で出たものをチップ化して加工。堆肥化にして果樹園に活用する。	思い出づくりができる場（17ページ）については、里山プラン策定のための市民ワークショップで提案された活動内容を掲載しています。 今後の取り組みについては、市民主体のワークショップにより検討していきます。
6	長久手の里山を最もシンボリックに表せるのは、香流川ではないかと思う。 香流川を整備することにより、水生生物や鳥、昆虫を呼び寄せ生態系を再構築し、市民の自然回帰を図る。 香流川だけでも一つの再生プロジェクトを作りたい。	香流川については、長久手市香流川整備計画（平成26年度策定）をもとに、自然環境の保全と都市的価値を高める象徴として整備していく方針です。 9. 新たな体制づくりと管理・運営（21ページ）にあるとおり、里山の保全・活用に向けて、今後全市的な協議会づくりを目指しており、様々な市民活動団体や、関連する部署と連携しながら、市民主体による事業展開を検討していきます。